

提 言 書

三大都市圏を超高速で結ぶリニア中央新幹線は、時間短縮によるスーパー・メガリージョンの形成と、災害に強い国土を形成するための国家的プロジェクトです。

本年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2024」におきましても、リニア中央新幹線については、全線開業に係る現行の想定時期の下、適切に整備が進むよう、必要な指導及び技術的支援を行うとともに、名古屋以西について、駅の整備に関する検討の深度化など、整備効果が最大限発揮できるよう、沿線自治体と連携して駅周辺を含めたまちづくりを進めること等が記載されています。

また、名古屋以西の開業に向けては、令和5年12月、奈良県で地質調査などの「環境アセスメント」が着手され、今後、具体的なルートや中間駅の設置位置の絞り込みなどが本格的に進んでまいります。

そこで我々は、この動きに的確に対応し、リニア中央新幹線の効果を奈良県全域の発展に最大限生かすため、奈良県として一致結束して取り組み、ともに未来を切り拓くため、次のとおり提言するものです。

- 1, 奈良県内への中間駅の設置を確実とするため、名古屋・大阪間の環境影響評価の手続きを速やかに進捗させること。そのうえで、リニア中央新幹線がもたらす様々な効果を最大限に発揮するため、東京・大阪間を一日も早く全線開業すること。
- 2, リニア中央新幹線がもたらす効果を県南部を含む奈良県全体そして紀伊半島地域にも広く波及させるため、全国新幹線鉄道整備法に基づく基本計画及び整備計画において明記された「奈良市附近」駅の設置位置は、JR や近鉄による鉄道網と西名阪自動車道や京奈和自動車道などの道路網で各地と高い交通結節性を有した最適地とすること。
- 3, 様々な波及効果が期待できるリニア中央新幹線の車両基地について、名古屋・大阪間の車両基地は、大阪のターミナル駅の近傍である奈良県内へ設置すること。

令和6年10月16日

「奈良県にリニアを！」の会